



- 特集1・東京都河川愛護月間関連行事のお知らせ
～つながる水辺 ひろがる笑顔 東京の川～
- 特集2・第5回「無電柱化の日」フォトコンテスト
を開催しました!
- 特別特集・ゆめねつ夜間開館2026



東京都河川愛護月間関連行事のお知らせ

～つながる水辺 ひろがる笑顔 東京の川～

7月 は河川愛護月間です。東京都では、東京の川に親しみや愛着を持っていただくため、河川愛護に関わる各種行事※1を開催します。

※1 河川愛護に関わる各種行事について
良好な河川環境の保全・再生などの推進や、河川愛護意識の醸成を目的として、毎年7月を河川愛護月間とし、国土交通省及び東京都をはじめ、各自治体が様々な行事に取り組んでいます。

東京都が主催する令和 8 年度行事

川のフォトコンテスト

東京の川の姿や川の魅力、川への親しみ・愛着を捉えた都内の川の写真を募集しました。応募作品は川のパネル展にて公開予定ですので、是非ご覧ください。

昨年度受賞作品



奨励賞



特別賞

施設見学会

神田川・環状七号線地下調節池において「施設見学会」を開催します。施設の役割やしきみなどについて、スタッフが現地で解説します。



開催日時 10月17日(土)
9:30～13:00

募集人数 200人

募集締切：開催日時の概ね 1 か月前
(詳細は下記HPに掲載しております。)

川を歩こう

下記5つのコースを開催します。身近な自然環境である河川により親しんでいただくため、川沿いを歩きながら川の様子や歴史、川づくりなどについて解説します。

コース名	開催日時	募集人数
①南浅川	10月 3日(土) 9:00～13:00	40人
②旧中川	10月10日(土) 9:30～12:30	50人
③多摩川・奥多摩	10月17日(土) 9:00～12:00	50人
④石神井川	10月17日(土) 10:00～12:00	50人
⑤隅田川	10月24日(土) 9:00～12:30	70人

募集締切：開催日時の概ね 1 か月前
(詳細は下記HPIに掲載しております。)

川のパネル展

低地河川(隅田川など)や中小河川(神田川など)の整備状況、土砂災害対策の取組、河川のおすすめ情報など、東京都が取り組む河川事業を紹介するパネルや模型を展示します。

開催日時 8月26日(水)～28日(金)
9:00～17:00

開催場所 新宿駅西口広場イベントコーナー

※事前申込みは不要です。

過年度開催状況



過年度開催状況



旧中川



多摩川

河川愛護月間行事については、東京都建設局河川部のHPに掲載しております。



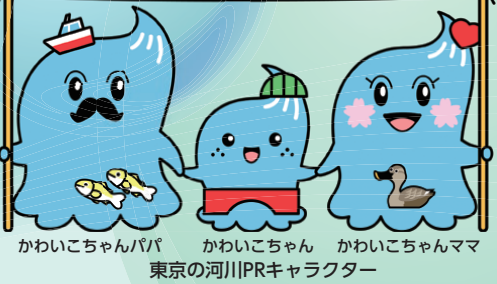
河川に関する普及・啓発・利用促進HP

URL : <https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jigyo/river/keihatsu/index.html>



川へ行こう!

東京都河川愛護月間



かわいこちゃんパパ かわいこちゃん かわいこちゃんママ
東京の河川PRキャラクター

土砂災害防止に関する 絵画・作文を募集します!

「土砂災害防止月間」にあわせ、明日を担う小・中学生を対象に、土砂災害防止に関する絵画・作文を募集します! 詳細は、以下、問合せ先にお問い合わせください。

- 対象者 都内在住・在学の小・中学生
- 題材 土砂災害及びその防止対策に関するもの
- 規格 《絵画》書き方・大きさは自由
《作文》400 字詰め原稿用紙 2～5 枚
(詳細は問合せ先まで)
- 応募方法 応募作品にタイトル、学校名、学年、氏名を明記の上、9月15日(火)(消印有効)までに郵送で「土砂災害防止に関する絵画・作文」担当(〒163-8001 東京都新宿区西新宿 2-8-1 東京都建設局河川部指導調整課)へ。



令和7年度
建設局長賞受賞作品(抜粋)

問合せ先 河川部指導調整課 03-5320-5406

イキモノのイキな話

154



尾羽はどこへ? コシジロヤマドリの換羽

井の頭自然文化園 飼育展示係 安藤 凜

暑さが続き、すっかり半袖の季節がやってきました。鳥たちにもいよいよ衣替えの季節がやってきます。

今回は、コシジロヤマドリの尾羽と「換羽(かんう)」についてご紹介します。

長い尾羽が印象的なコシジロヤマドリのオス。春の繁殖期には90cmにもなる長い尾羽と光沢のある赤銅色の体でメスにアピールします。

しかし、この立派な尾羽は一年中見られるわけではありません。繁殖期が終わる頃、オスの尾羽は少しずつ抜け落ち、新しい羽に生え換わります。このように羽が生え換わることを「換羽」といいます。

換羽は、日々の活動で傷んだ羽を新しくするだけでなく、次の繁殖期に向けてより色鮮やかな羽に生え換わるための大切な準備でもあります。

コシジロヤマドリの換羽は、初夏から秋にかけて行われます。そのため、この時期の展示場では、長い尾羽が落ちていることがあります。尾羽が抜けた姿は、丸みのある体に新しい短い尾がついてどこかわいらしい印象です。

もし展示場で落ちている羽を見かけたら、それは季節の移り変わりを教えてくれる小さなサインです。

繁殖期の目立つ姿だけでなく、変化の途中にある姿にも、ぜひ注目してみてください。

水族園の“かお”

葛西臨海水族園
アオウミガメ

2025年7月に、小笠原から生後1か月ほどのアオウミガメが2頭やってきました。どちらも順調に成長し、11月には「東京の海」エリアで最も大きな水槽である「小笠原の海4」にデビューしました。前肢をつかって飛ぶように泳ぐ様子をぜひ観察してみてください。

